

製品名: CD55 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81187**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.4kDa

抗原情報

遺伝子名	CD55
別名	CR; TC; DAF; CROM
遺伝子 ID	1604.0
SwissProt ID	P08174
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD55 (AA: 238-357) の精製された組み換え断片。

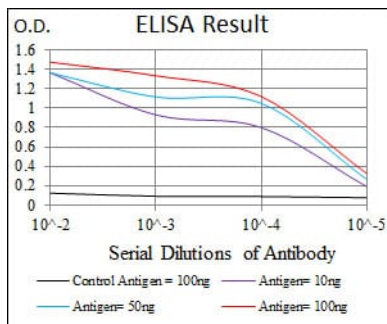
背景

この遺伝子は、補体カスケードの制御に関与するタンパク質をコードしています。コードされている糖タンパク質は崩壊促進因子 (DAF) としても知られています。DAF が補体タンパク質に結合すると、それらの崩壊が促進され、カスケードが阻害され、宿主細

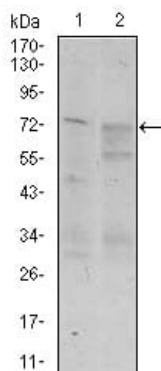
胞への損傷が防止されます。DAF糖タンパク質上に存在する抗原は、クロマー血液型システム (CROM) を構成します。異なるタンパク質をコードする2つの選択的スプライシング転写産物が同定されています。主要な転写産物は、血漿構成タンパク質に曝露された細胞上で発現する膜結合タンパク質をコードしますが、選択的スプライシング転写産物は、はるかに低濃度で存在する可溶性タンパク質を生成します。さらに、選択的スプライシング転写産物のバリエーションが報告されていますが、それらの生物学的妥当性は未だ確立されていません。

研究分野

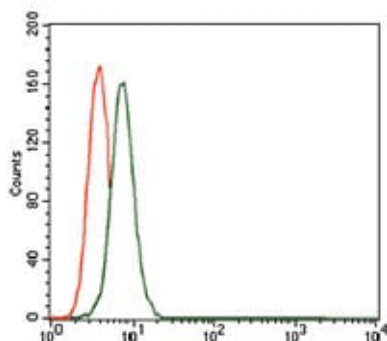
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Raji (1) および K562 (2) 細胞溶解物に対する CD55 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



CD55 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。